



# 学校だより

5月号



令和5年4月28日  
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ  
QRコード

## 同じ方向を向いて

校長 榊原 一紀

温かい日差しの中、児童は理科の学習で春の生き物を観察したり、体育で元気に走ったり、穏やかな学校の日常が始まっています。入学、進級して約1カ月経ち、新しいクラスに少しずつ慣れてきているように感じます。来週1日に行う2年生の遠足を皮切りに各学年の遠足、体験学習、修学旅行と校外に出かける行事が始まります。校外でも「格好いい」姿を見せてほしいと思っています。

前回の学校だよりでは、「格好いいを今年度の私のキーワードとして様々な場面で問いかけていこうと思います。」と書きました。始業式や入学式では「格好いい」姿として次の4つを伝えました。

あいさつができること やさしい心をもつこと ルールを守ること  
自分のことは自分ですること

他にもたくさんの格好いい姿があると思いますが、学校生活で大切にしたいことはこの4つです。コミュニケーションに必要なあいさつ、いじめをしないやさしい心、社会の一員として守るべきルール、そして自立した人間として育っていくこと。その基礎の上に学習が成り立つと考えます。

集団登校で並んで登校している児童から多くのあいさつが聞こえます。よく見ると、大きな声が聞こえるグループは、先頭のリーダーの声もよく聞こえるのです。リーダーの行動をお手本としているのでしょう。そのような様子を見て、学校のリーダーである高学年が、よりよい手本となってもらえれば、よりよい学校になっていくと思いました。高学年の児童の成長が、全校に広がっていくよう指導していきたいと思っています。

教員は20人以上の児童を毎日指導していますが、指導や支援に魔法はなく、うまくいかないこともあります。しかし、学校と家庭が同じ方向を向いて、指導や支援をしていくことで、よりよい児童の成長につながることは多くあります。対面で行う19日の学校説明会では、学校が大切にしていることをお伝えします。ぜひ、ご参加していただき同じ方向を向いて取り組んでいければと思います。資料を配付しますので、学校と保護者が一体となり、同じ方向を向いて児童の成長を見守れるよう、参加できない方も資料を読んでいただければと思います。よろしくお願いいたします。